

## 「教育理念」「目標」

医学科では、医学・医療の専門知識と技術を教授し、豊かな人間性を涵養すること、医学・医療の変化、医師の社会的役割の変化への対応能力を育成すること、国際的視野に立って医学の発展及び国際交流に貢献し、国際化に対応できる能力を育成すること、医学・医療の知識や技術の向上に積極的に貢献し、創造的な人材を育成することを理念・目的として、以下のような教育目標を掲げています。



1. 豊かな人間性と高い倫理観を持った医師，研究者の育成
2. 科学的探究心の育成
3. 問題提起能力及び自己開発能力の育成
4. 実践的臨床能力及び先進的医療への対応能力の育成
5. 国際的視野と医学・医療分野での実践的英語能力の育成
6. 地域社会の医学・医療に対する多様な要望に対応できる能力の育成



## 求める学生像

1. 医学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
2. 国際的視野を持って、山口県をはじめとした地域医療と、医学の発展に貢献する意欲のある人
3. 倫理観が高く、医師としての職責を理解できる人間性豊かな人
4. 目標実現のためにコミュニケーション能力やリーダーシップを発揮できる人
5. 知的探究心が旺盛で、生涯にわたる自己研鑽を続ける意欲のある人
6. 自ら課題を発見・提起して論理的に思考し、解決への道筋を探究できる人



## 大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

医学科は医学・医療を学ぶために必要な基礎学力を有することを前提に、教育目標を達成するための全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と道徳性や体力をバランスよく身につけていることが必要です。

大学入学までに身につけておくべき教科等は、少なくとも次のものです。

1. 数学は、理系数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)についての知識・技能と数学的思考法
2. 理科は、物理・化学・生物の基礎的な知識と科学的な自然観・探究心
3. 地理歴史・公民の各科目は、将来、医療人として活躍するために必要な常識的な知識や素養
4. 国語、英語の科目は、地域社会や国際的分野において医療人として活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力、読解力、思考力

